

実験・五音詩

曙

あけぼのの
日のひかり
山の端の
白みつつ
紫の
雲の筋
夜の黒
後背に
艶やかに
色めいて
線香の
火のように
灰と赤
橙に
火の点いて
穏やかに
燃えていく
夜明けて
陽に近い
空の端

金子
農

暁

染め明けて
晴れやかに
燃えさかる
蒲団にて
瞼閉じ
いぎたなく
眠りこけ
明けたるも
覚え得ず
庭の木の
鳥の声
障子越
囀りの
びいびいと
聞こえ来る
先の夜
雨の音
しとしとと
風の音
びうびうと

聞こえけり

朝の今

心憂い

庭の木

はなびらは

いくらほど

落ちたるか